

「奇跡の集落」が生まれる背景とインターンシップの取組み

■趣旨：

新潟県は世界的にも有数の豪雪地帯である。故に高齢者をはじめとした生活弱者にとっては暮らしを継続することがより困難になりやすい。新潟の地域づくりは「克雪」という言葉にも表されるとおり、雪との戦いでもあった。こうした生活条件がきびしい地域であるが、2000年から始まる「大地の芸術祭」や中越地震からの復興まちづくりを通じて、地域内外との積極的な交流から集落の活力が取り戻されていく例が多く出現している。また、現在では短期、長期の様々なインターンシップ・プログラムも整備され、インターンを経て地域に移住する若者も出てきている。

本研究会でこうした事例を振り返りながら地域の担い手となる若者たちに因る“住み継ぎ”の可能性を検討する。

■日程：2015年7月11日（土） 14:00～17:30

■会場：長岡復興アーカイブスセンター「きおくみらい」

（長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト2F / 最寄り駅：上越新幹線長岡駅）

■スケジュール：

11日（土）：春季学術研究会

14:00 挨拶・趣旨説明 / 岡田委員長 & 山崎主査

14:15 話題提供1

多田 朋孔 十日町市地域おこし実行委員会 事務局長 / 地域おこし協力隊OB
（仮題）「“奇跡の集落”と呼ばれるに至るまで 移住者の目線から」

14:45 話題提供2

山本 浩史 十日町市地域おこし実行委員会 代表理事
（仮題）「移住者を受け入れる地域のあり方とは」

15:15 話題提供3

日野 正基 中越防災産前推進機構復興デザインセンター
（仮題）「インターンを通じた人材確保 にいがたイナカレッジの取組み」

15:45 休憩

16:00 ディスカッション

「小規模高齢化集落を復活させる“住み継ぎ”の可能性」

パネラー

多田 朋孔 上記

山本 浩史 上記

日野 正基 上記

コーディネーター

田口 太郎 徳島大学

高 和雄 ふるさと回帰支援センター

コメンテーター

山崎 義人 兵庫県立大

17:15 まとめ

17:30 終了（予定）

18:30～ 懇親会（長岡駅周辺）

12日（日）エクスカージョン：

8:00頃～ 池谷集落の取組みを現地にて見学（14時頃解散予定）

※予定は参加メンバーの宿泊場所などを考慮して確定したいと思います。予定は全て未定です

■問い合わせ&申し込み：

徳島大学総合科学部 田口太郎

e-mail: taguchi@tokushima-u.ac.jp